

教父研究会活動報告

(二〇一五年二月～二〇一六年九月)

第一五四回教父研究会

二〇一五年二月十九日(土) 東京大学

阿部善彦氏「エックハルトの「子であること」理解について―「父」「子」の観点から―」

出村和彦氏「アウグステイヌスにおける「貧困」、「病」

そして「老齡」

第一五五回教父研究会

二〇一六年三月十九日(土) 東京大学

藤原理沙氏「アウグステイヌスの墓前祭に対する態度」

水落健治氏「アウグステイヌスの聖書解釈―『詩編講解』

(六九―七五編)を中心に」

第一五六回教父研究会

二〇一六年六月二十五日(土) 東京大学

福田淑子氏「「無原罪の宿り」の視覚化」

樋笠勝士氏「教父哲学における「美」の問題(仮)」

第一五七回教父研究会

二〇一六年九月二四日(土) 東京大学

戸根裕士氏「アジア環太平洋初期キリスト教学会(APE

CSS)の位置づけの試論―第十回大会を振り返って―」

袴田玲氏「グレゴリオス・パラマスにおける知性(ヌー

ス)概念の継承と展開」

坂田奈々絵氏「シユジエールの聖ドニ観―初期キリスト

教のサバイバルの視点から」

教父研究会役員(二〇一三年六月から)

名誉会長 加藤信朗

会長 出村和彦

理事 上村直樹・柴田有・高橋英海(事務局長・編

集担当理事)・出村和彦・水落健治・宮本久雄・

村上寛・山本芳久(事務局・編集担当理事)

会計監査 高橋雅人

幹事 編集担当 袴田涉

会計担当 袴田玲

庶務担当 坂田奈々絵

査読担当 高橋英海・出村和彦・水落健治・

村上寛・山本芳久

イトルを付す)

事務局所在地

〒一五三―八九〇二

東京都目黒区駒場三―八一

東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻

高橋英海研究室

『パトリステイカ』投稿規定

1. 本誌への投稿は、教父研究会での口頭発表を前提とする。発表を希望する会員は、原則として、発表前年の一月末日までに事務局宛にメールにて申し込むこと。事務局のメールアドレスは、以下のとおり。
takahashi@ask.c.u-tokyo.ac.jp
2. 投稿原稿の締め切りは、発行年の三月末日とする（依頼原稿は必ずしもこの限りではない）。
3. 本誌は投稿原稿に限り、査読制を採用している。原稿の採否、及びその取り扱いは、提出原稿を審査のうえ、運営委員会が決定し、投稿申込者に通知する。
4. 原稿の字数は、一六、〇〇〇字以内 縦書き（欧文タ